

2024 年慰安旅行 in 新潟

2024.11.20

2024 年 11 月。

恭啓 向寒の候、皆様いよいよご盛栄のことと拝察いたします。

常々ひとかたならぬご高配にあずかり厚く御礼申し上げます。

年末に向けあわただしい日々の中、

弊社の HP に訪問された余暇のある高貴な貴方に、

そつこの旅行記をお届けします…。

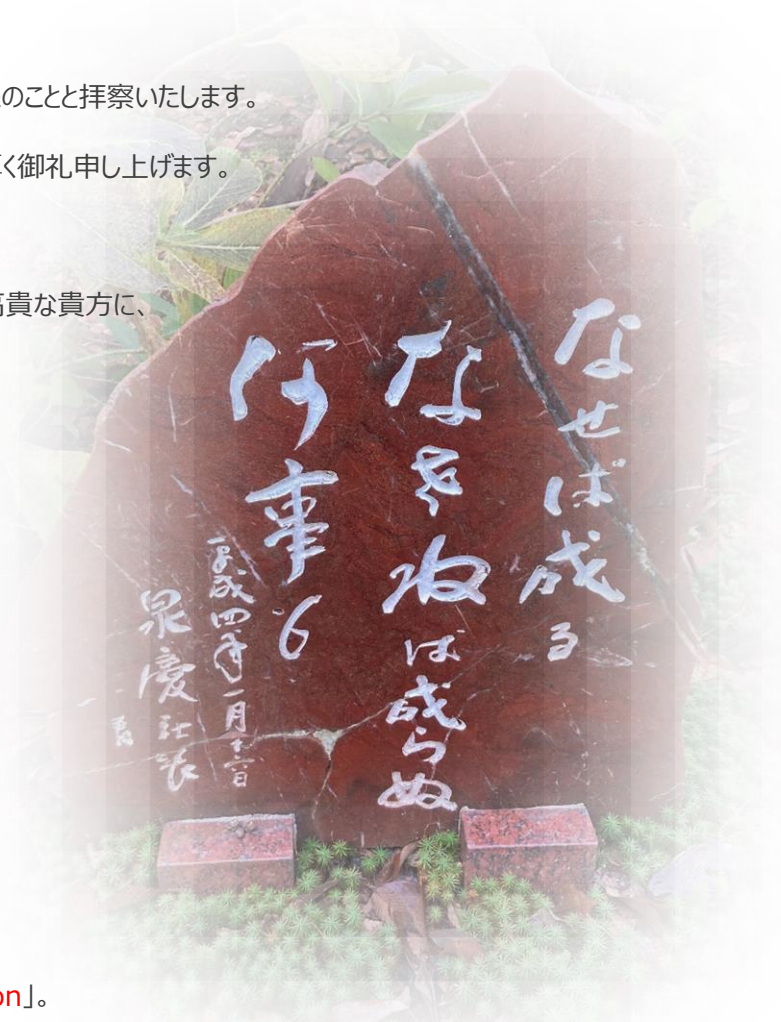
と、いうことでこれから年末に向け、

どこに旅行へ行こうかと検討されている、

その「[nice guy](#)」 or 「[nice person](#)」。

そんな悩める方々に、行先の候補地として、この旅行記が少しでも参考になればと思います。

それでは早速出発から…。





始まりは伊丹空港 10:00 発の飛行機。

ANA 見れば

小春おとずれ

心浮く

ついつい一句出てしまう程、エレガントな ANA 機体。

心が躍ります。でもって颯爽と乗り込む浪速従業員。



大阪の上空から 1 時間のフライトで新潟上空に。あっという間です。

そしてさすがの「米どころ」。米の作付け面積、収穫量が日本一なのは伊達じゃない。

上空から見る景色は、「実利」と「美」を兼ね備えた「田」のアートです。

知らんけど…。



そして 11:00、新潟空港到着。

そしてお米と言えば「日本酒」。

本日酒蔵見学があるとのことですので、胸が高鳴ります。

肝臓がちと心配ですが、2 日だけ、2 日だけ…。



今回 2 日間通してお世話になります、「ゆきつばき観光」さん。

バスの中は広々としており、USB 充電ポートも完備。Excellent !



早速、ハイボールにおつまみを添えて出発します。

いとおかし。



新潟駅で東京支店の面々をピックアップ。

昼食のために「ホテル日航新潟」さんへ。

ホテル内「桃李」さんの、

人気飲茶ビュッフェをいただきます。

ホテルロビーではクリスマスツリーが。

今年もあとわずか。1年が早いです。

右写真はホテル内にて。浪速の美人3姉妹。左から、奈良工場の荒くれを束ねる、「浪速のシガニー・ウィーバー」。大阪工場従業員の母、「浪速のナイチンゲール」。本社事務を統べる、「浪速のカマラ・ハリス」です。



下写真は飲茶ビュッフェの写真。



どれもこれも美味しい！さすが人気のビュッフェ。しかもオーダービュッフェですので、楽ちんです。



さて、満腹になった我々が次に向かう先は、「今代司酒造」さん。

創業 1767 年の老舗酒蔵メーカーです。歴史ある建物とリノベーションされた玄関が、新旧の美しいハーモニーを奏でています。

そんなおしゃれな玄関から中に入ると、

お土産コーナーやスイーツの販売が。

大吟醸ソフトや大吟醸ケーキ、もちろん日本酒の直売も。

変わり種としては、「地酒ガチャ」、「おみやげガチャ」があり、

お酒が飲めなくても楽しめる工夫があります。老舗メーカーの細かな気配り…、素晴らしい。



奥は酒蔵となり、予約すれば酒蔵見学が可能。

左写真は実際にお酒造りの説明を受けつつ、酒蔵を見学しております。で、どうやら昔ながらの木桶仕込みの酒造りは、ほとんど行っていないそう。(ショック)

ただ、今代司さんでは一部復活して製造しているとのこと。本来は左写真の白いタンクで製造。



木桶とお酒のディスプレイ。

とにかくオシャレです。





酒蔵見学が終わると、お待ちかねの「試飲大会」です。

1,000 円支払うだけで全種類の試飲が可能です。

「飲まずにいらいでかっ！」ってことで、希望者を確認しお支払い。

でもって日本酒と言っても、甘口もあれば辛口もある。

フルーティなものもあれば、ワインのような味わいもある。

実に奥が深い…。

そうそう、木桶仕込みの日本酒もいただきました。

通常のお酒よりも芳醇で、かすかに木の香りと独特の風味を感じます。 実に美味しい。

で、写真真ん中の金魚柄の日本酒「錦鯉」。個人的には一番美味しかったです。

どんな味かは言いません。言葉は無粋…。ぜひともご賞味あれ。



すっかり千鳥足の一行が、次に向かった先は 瓢湖（ヒョウコ）。

白鳥がこの湖に集まるというスポットだそう。

試飲大会で、もはや白鳥とアヒルの区別もつかない面々ですが、
集合写真を撮っていざ湖へ。

.....。

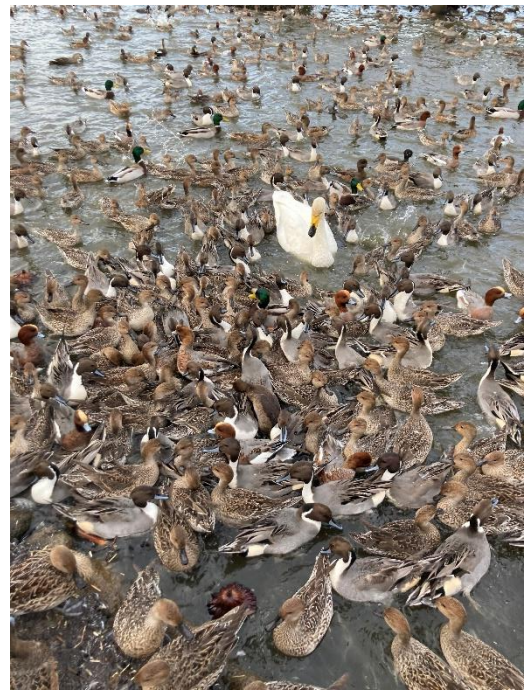
.....。

.....。

カモではありません。白鳥の雛です。

カモではありません。白鳥です。

カモではありません。白鳥はアナタの心の中に…。



湖横の売店に、カモの王サ 白鳥のエサが販売しております。

せっかく来たので弊社東京支店の営業さんが購入。

景気づけにエサを撒きます。



そいっ！



そいっ！



そいっ！

お目汚し失礼いたしました。 完



千鳥足な仲間たちは、本日泊まる
月岡温泉「白玉の湯 華鳳」さんへ。
なんと女将さんやスタッフさんが、バス到着に合わせて
お出迎え。素晴らしいおもてなし精神。
酔っぱらいでホント、すみません。

バァーーン！

ドーンン！



広々ロビー。
凄い！
ホントにいいの？
泊まってるの？

豪華で質実。
繊細かつ大胆。
5つ星ホテルは
伊達じゃない。
(GoogIMAP 調べ)



でもって4人部屋。和室です。良きかな…。

部屋からの景色。良きかな…。

頭の中では、「ふるさと」の曲が流れており、

ミーの心は、ノスタルジーなフィーリングに。

で、洗面所のアメニティなんかも、豊富でばっちりです。

痒い所に手が届く。

良きかな…。





そしてウエルカムサービスなんかもあり、18時まではスイーツやお酒、各種ドリンクがいただけます。

まさに至れり尽くせり。

後ろ髪を引かれつつ、宴会までにお腹を空かせるためにお風呂へ。

大浴場「天楽」。

内湯、サウナ、水風呂、露天風呂からなり、露天風呂に関しては華鳳さんの本気を感じさせるつくり。夜になると綺麗な月様が見え、心も体も浄化されます。

温泉には美肌効果もあり、皆、エイリアンの側頭部のようなツルツル肌に。

これにはリドリー・スコット監督も

スタンディングオベーションです。

お風呂から上がると、冷たいドリンクとアイスキャンディーの無料サービス。

控えめに言って最高か？





常務のありがたいお話の後、
一次宴会のスタート。



おいしい会席料理に舌鼓を打ち、
日頃のストレスを発散します。

コロナ、戦争、物価高騰、なかなか苦
しい景気の昨今。

製造業の弊社も影響を受けておりま
すが、まだまだ頑張りたいところ。





お次はホテル内ラウンジで2次会。次はカラオケ大会です。

お腹も心も、血中アルコール濃度もいっぱいなので、ほどほどに参加し、ホテル自慢の6,000坪の大庭園を散策することに。



月明かりの静かな夜に、ライトアップされた庭園が映えます。

よくお手入れされた和の大庭園。

美しい景色に、やうやうと琴線に触れます。

ただ、千鳥足でオッサン一人が庭園をさ迷うには、少々危険かなと感じたので、3次会部屋に引っ込みます。



3次会部屋にはすでに4人の玄人（バイコン）が…。

隣のオードブルには一切手を付けず、ただならぬ気配で打牌する雀鬼たち。

写真左から時計回りで、チートイの好(ハオ)、ホンイツの斎(サイ)、サンシキの安(アン)、パワハラの黒(ヘイ)です。

2次会も終わり、少しずつ

人が3次会部屋に流れてきます。

皆、まだまだ元気です。

慰安旅行の1日目は

まだ終わらない…。





二日目。

この日は快晴。気温も 20°近くまで上がるそう。

絶好の渡船日和です。

佐渡島の金山が呼んでいる…。

左写真は早朝 5:30 に朝風呂に行き、
大庭園をウロウロして撮影した 1 枚。

ええ、ハイ。完全に不審者です。

本当にありがとうございました。

でもって今日はタイトなスケジュール。

気合を入れて朝食へ向かいます。



ビュッフェ形式で、なんと、なんと、海鮮ネタが食べ放題です！
「ヤスダヨーグルト」さんの、飲むヨーグルトがあり、
生絞りグレープフルーツジュースがあり、朝から楽しすぎます。
いきなりお腹いっぱいです。





AM8:30 華鳳さんから出発です。

女将さんのお見送り。

正直、過去最高のホテルかもしれません。

豊富な「アメニティ」だったり、

お風呂の子供向け「おもちゃ」だったり、

年配者に配慮したエレベータ内の「イス」だったり、掃除が行き届いていたり、そこかしこに飾られた花は「生花」だったり。

とにかくサービスや配慮がきめ細やか。

極めつけは、弊社女性従業員の壊れた靴の代わりを、ホテル従業員さんから提供してくれたことです。

ホテル観光業の「頂（いただき）」を見た気がします。

本当にお世話になりました。

そして、バスで走る事 1 時間。

新潟港へ到着。

ここで、「ジェットfoil」に乗って佐渡島へ向かいます。

この船、ウォータージェットを噴射し、浮いた状態で翼走します。

よって時速 70km で安定航行が可能なのです！ スゴイ！

揺れが少なく、飛行機のような乗り心地。

おすすめです。





船から見る、佐渡島。

えっ、でかくない？ そう、**でかいんです**。日本地図が何かで見ると小さく見えるのですが、

実際は沖縄本島に次ぐ面積を持つ 854.8k m²。

東京都の面積 48%に当たり、大阪府の面積 45%に相当します。

イメージつきますでしょうか？

で、暖流と寒流の接点にあるため、新潟県の本土側と比較すると、冬の気温は 1, 2 度高く、

夏は海風の影響で昼夜の温度差は小さくなるうえ、1, 2 度涼しいとのこと。

実に過ごしやすい…。

また、暖流と寒流に乗ってくる水産物にも恵まれており、**カツオ、アオリイカ、ブリ**が獲れるとのこと。

県内唯一の養殖「**カキ**」産地でもあり、気候も食も、実に魅力的な島となっております。

定年後のスローライフにいかがでしょうか？



両津の港に着いた我々は、早速待機していたバスに乗り込みます。

ここから相川にある「金山」を見学。

小木で「たらい舟」を体験し、昼食。そして両津の港に帰ってくる。

それらすべてを5時間以内で周るという弾丸ツアーです。そんな狂気の弾丸ツアーを引き受けてくれた勇者は、「吉田交通」さん。感謝



バスに乗り込み、

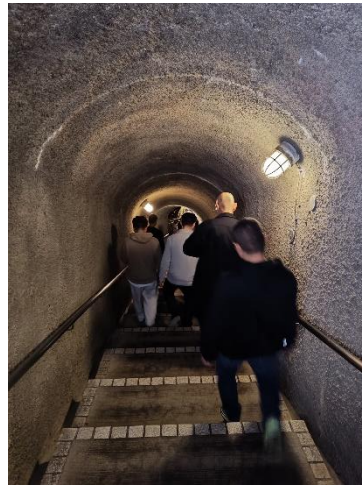
郷土愛全開のバスガイドさんのお話を聞いてみると、なかなかの紅葉具合。

最近、春夏秋冬の四季が無い。（春、秋が無い）などと言われていますが、なかなかどうして良き景色です。



そして「佐渡金山」到着。

我々に与えられた時間は 30 分です。急げっ！



坑道内は夏でも 10 度くらいで、ひんやり。

ところどころ濡れた路面があるので注意。

今回我々は駆け足での見学ですが、

しっかり見学される方はトイレを忘れずに。

坑道内にトイレはありません。

で、坑道内には当時の作業風景が再現されており、人形の顔立ちや表情がリアルです。

観光客が近づくと、センサーで反応し動いたり喋ったりします。 う〜〜ん、マンガム。



作業内容の説明文に英語訳があるあたり、**世界遺産**になった圧を感じます。



坑道を抜けると展示資料館につながっており、

当時の様子を再現したジオラマや、様々な展示物を



見学できます。



で、やはり目玉はコレ。

時価 1 億 5000 万円以上の金塊！ 重さ 12.5kg！

以前はこちらを穴から 30 秒で出せたら、

シリアルナンバー入り金箔カードがもらえたそう。

2024 年 4 月をもってして、

20 年以上続いた取り出し挑戦は終了したとのこと。

東京・日本橋のデパートで、1000 万円相当の純金製茶わんが盗まれた事件が理由。

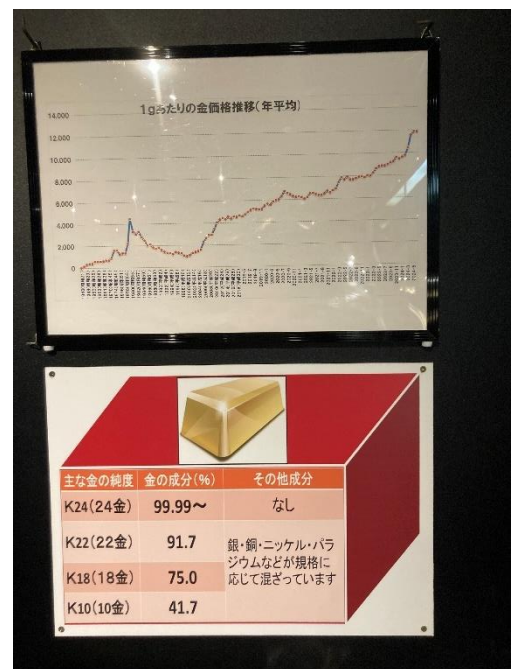
残、残、残念。(悔) しかし仕方ない。

お触り OK なだけヨシとしましょう。

2 年前は 1 億円相当と紹介されていたので、金の価格高騰が半端ない。

皆様、タンスの肥やしになっている指輪やネックレス。「**金**」じゃないですか？

今一度、確認してみましょう。





金山坑内を疾走した一同は次の目的地、「**小木**」に到着。

さっそく「**カ屋観光**」さんの「**たらい舟**」に乗り込みます。



揺れるのかな〜とか、怖いな〜とか、転覆はあるのかな〜とか思っていたのですが、全然全く問題ありません。

そこまで揺れませんでしたし、怖くもありませんでした。たらい舟ガールズ（こぎ手）にお話をきいたところ、

転覆はこれまで一度も無いそうです。そりゃそうか…。

乗ってみて思ったことは、**解放感が半端ない**です。なんせ、たらいの上に乗っているだけで、周りはぐるっと「**海**」です。

小木に来た際は、ぜひぜひ体験してみてください。



たらい舟を体験した後は、バスで 5 分の移動。海のドライブイン「**小木家**」さんで昼食です。

イカ飯にカニを添えての昼食です。美味しい！ごちそうさます。



昼食後、お土産を物色しバスへ乗り込みます。
時間が無いため、逃げるように小木港を出て、
両津港へ向かいます。
両津港のお土産売り場も華麗にスルー。
すぐにジェットフォイルに乗り込みます。
移動疲れで、船内では皆ぐったり。
眠気眼で外を見ると、劇的な夕日が佐渡島から…。

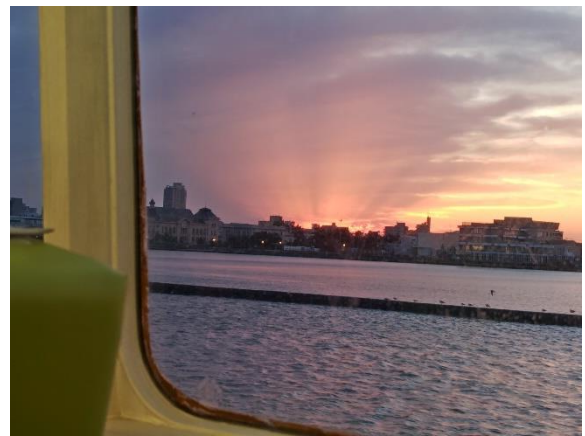
72 話

さらば トキ！

男の涙は一度だけ！！

というタイトルコールを、脳内再生してみたり、しなかったり。

そういや、結局佐渡島で「トキ」を見なかったな～などと思っていたら、新潟港に到着。

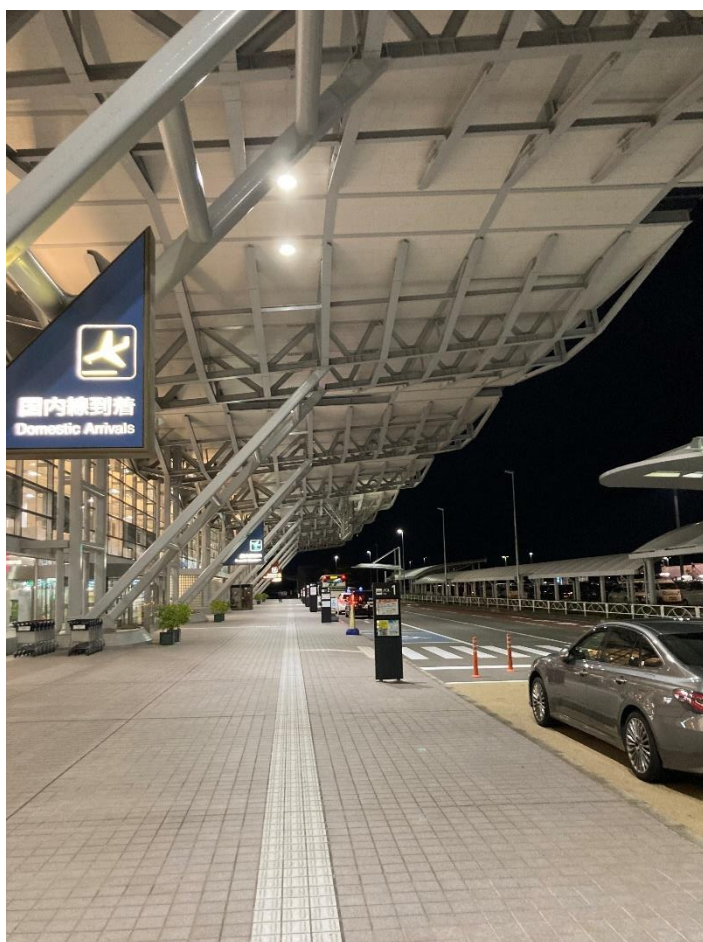


ここで東京支店勢とはお別れ。

東京支店勢はタクシーで新潟駅へ向かいます。

本社、奈良工場勢はさらに 30 分ほどバスに乗り、
新潟空港へ向かいます。

ラストスパート！



18:00 新潟空港到着。
外はすっかり真っ暗です。
なかなかのハードスケジュール。

しかし「ゆきつばき観光」さん、
「吉田交通」さん、共に安全運転かつ、
時間きっかりの調整ありがとうございます。
バスガイドさんも的確なお土産情報、
ありがとうございます。

皆様、新潟、佐渡島に訪れる際は、
ぜひぜひ両バスをご利用ください。

オヌヌメです。

1時間ぐらいの待ち時間は、空港内のショップで土産を物色です。

皆、思い思いに最後の新潟を満喫します。楽しかった。サンキュー。

そしてここまでお付き合いいただきました、

当HPをご覧くださいの皆さま。

ここまでありがとうございます。

ここまでの情報が、何かの参考になれば幸いです。



皆様のご多幸をお祈りしつつ、また逢う日まで、さようなら。

終わらないよ

追伸



佐渡島で発見したパックコーヒーをご紹介します。

ジェットfoil乗り場にあった「佐渡乳業」さんの自動販売機。

物珍しさに買って見たのですが、これがなかなかの美味。



牛乳感強めで甘さ控え目。

お子様もゴクゴクいけちゃいます。

弊社、牛乳嫌いの従業員も、

「うまいっ！」と絶賛。

佐渡島に行った際は、騙されたと思ってぜひ飲んでみてください。

騙されたならスイマセン。



お次は新潟名物「へぎそば」。新潟空港内の「須坂屋」さんでいただきました。

つなぎに布海苔（フノリ）という海藻を使っており、ほんのり磯のかほり。

食べた感想としては、ソバよりそうめんや冷や麦などに近いような…。ツルツルとしたのど越しが新鮮です。

実に美味！ ぜひぜひご賞味あれ！